

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市東戸塚地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

【川上地区】

- ・ 支え合いのグループが活発に活動しています。またグランドメゾンで立ち上がったサロンも 2 年目となり、継続して取り組んでいます。
- ・ 一人暮らし高齢者に関する問合せ・相談が増えています。
- ・ 民生委員が欠員（2 名）している地域があり、相談窓口を担うマンパワー不足となっています。

【東戸塚地区】

- ・ 川上第一団地「憩いの部屋」が開所して 1 年。新たな利用者の発掘・PR 及び協力者の拡充が課題となっています。

とつかハートプランに基づき、課題解決を地区として検討・推進する必要があります。（推進委員会として、具体的解決に向けた検討が未着手）。

- ・ 新たに住民となった転居者（高齢者住宅やマンション等）の居場所・仲間づくりが課題となっています。

【その他】

- ・ 企業・店舗等が会員となる「東戸塚商店会」が発足しました。地域づくりの担い手として、相談協力者・ネットワークが広がりました。

（※今年度、認知症啓発事業に協力・参加。）

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

1. 相談窓口当番を決めて対応しました。相談はプライバシーや個人情報に配慮し、原則個室で対応しています。
2. 困りごとを受け止め、つなぐ意識を持って対応しました。
3. つなぐ意識を持ち、内容により関係機関に相談または紹介するなど、ネットワークをお互い活用しながら対応しました。

(2) 各事業の連携

1. 毎月 5 職種会議を開催し、情報の共有とともに個別ケース及び地域支援について職種を横断して検討しました。区社会福祉協議会（以下、区社協）の地区担当者も参加してもらい、助言を得ながら進めました。
2. 12 月に実施した「認知症やさしいまなざしあったかハート in 東戸塚」は、全職種が事前準備含めて当日の運営に取り組みました。企業や店舗への参加協力を求める営業活動は包括職員が中心に進め、現在は日頃の相談もやりとりできる関係性を築くことができました。
3. 地域交流事業に参加する“気になる人”（支援が必要と思われる高齢者等）を地域包括支援センターにつなぐなど、職種連携のもと課題の解決に向けて取り組みました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 日頃より住民・地域の相談に対応できるよう、職員の勤務時間等シフト配置に努めました。
2. 職員の研修計画により、職員が必要な研修に参加しました。
3. 研修受講者は研修受講後、所内部門会議等で報告を行い、研修内容の共有を図りました。
4. 相談者（家族及び当事者等）の身近な窓口として職員の言動含め利用者や他事業者からの不信を招くことのないよう、公立・中立性をもって対応しました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

1. 地区民生委員児童委員協議会（以下、民児協）や地区社会福祉協議会（以下、地区社協）の活動委員会等、地域の定例会や行事に参加しました。
2. ボランティア連絡会の開催形態等を考えながら、地域のネットワーク構築を進めました。
3. 子育て支援連絡会を年4回実施し、支援者の連携強化や当事者の参画を推進しました。
4. 地域ケア会議を開催し、当事者に関わる地域住民や民生委員、専門機関が協力して課題解決を図りました。
5. 近隣の企業・店舗等と連携を図り、事業を展開しました。

(5) 区行政との協働

1. 地域福祉保健計画の地区別計画地域支援チームの一員として、地域住民が主体となって計画を実行できるよう、進捗確認及び支援について区とともに協議しました。
2. 認知症啓発事業「認知症やさしいまなざしあったかハート in 東戸塚」は、区との共催事業として実施しました。
3. 区保健師等と協力し地域包括支援センターのカンファレンスを実施しました。個別の対応については、区と確認し合いながら、きめ細かい支援を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. 近隣施設、地域住民の協力を得ることで、地域が必要とする高齢・子育て・障がい の3分野の事業を検討、実施することができました。
2. 事業終了後の時間を活用し、参加された方の声を聞き、事業課題や地域ニーズの把握に努めました。また、ボランティアとの打ち合わせなどを通して、事業をより良いものにしていくように努めました。
3. 他部門と連携し、自主事業内の時間を使い、ケアプラザの機能の周知に努めました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 貸館を利用している団体からの意見や職員の業務改善の視点をふまえて、貸館利用の手順を随時確認、情報共有を行いました。
2. 貸館利用団体交流会や貸館利用申込時、あるいは利用時に、利用状況などを踏まえた説明を心がけました。
3. 建物内の点検をこまめに行い、利用者が使いやすい部屋であるよう努めました。また、利用者の声を拾い、要望等あれば部門会議で共有しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. ボランティア団体（配食・傾聴・男性ボランティアグループなど）の定例会や各活動へ月1回以上参加し、地域包括支援センターと協力しながら、活動状況の確認や情報交換を行いました。
2. ボランティア連絡会で、ケアプラザ内外で活動中のメンバーを対象に車イスの介助方法・ストレッチ講座・交流会を開催しました。
3. ボランティア同士の交流などを目的としたボランティアのつどいを実施しました。ケアプラザ全体の事業として位置づけ、5部門から担当者を決め準備・運営を行いました。ボランティア同士の交流が深まるような、また、ケアプラザとしての感謝の気持ちが伝わるような内容で実施しました。
4. ボランティア登録カードを更新し、適切なボランティアコーディネートができるよう整理しました。また、サブコーディネーターもボランティア支援に携わっていることをより認識してもらうために、部門会議を通し、登録カードや対応方法について周知徹底しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 広報紙を年8回（毎回2500部）発行し、連合自治会町内会や関係機関、サービス利用者を中心に配布しました。
地域住民の視点を取り入れた紙面づくりのため、地域のボランティア参加による「さんぽみち編集委員会」を定期的に開催しました。
連合自治会町内会への回覧依頼だけでなく、連合未加入や自治会未組織の地域にはマンションの管理組合に個別に回覧の依頼をするなどの工夫をしています。
2. 貸館利用団体交流会（12月1日）を開催し、情報や活動内容の共有などを行いました。また、日頃使用する部屋を利用者の協力を得て清掃および点検することで地域の拠点であるという意識が高まりました。当日持参してもらった各団体のチラシをまとめ、掲示することで、来館者に情報提供しやすくなるよう工夫しました。
3. 貸館利用団体交流会では、団体同士がそれぞれの活動を知る機会になるだけでなく、ケアプラザの各部門担当者と関わることでケアプラザの機能を知ってもらう機会となりました。
4. ボランティア連絡会において、各団体の情報共有に取り組みました。また、地域の専門学校の作業療法士の先生からの協力を得て、車イスの介助方法・元気に活動し続けるための体のメンテナンス（ストレッチ方法）について学習しました。
5. 子育て支援連絡会においては、情報交換の場を設け、地域の子育て情報について共有しました。また、東戸塚 VERY の会（概ね35歳以上の初産である母子の集い）を毎月開催し、子育て支援連絡会のメンバーの協力を得て、事業を毎月1回開催しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

1. 月1回、職員会議、5職種会議、区カンファレンスを開催し、他部門を含めてそれぞれの専門的な視点から地域情報の共有、対応方法、地域へのアプローチ方法等の検討を行いました。
2. 5職種会議や区カンファレンスでは、ケアプラザ・区社協・区役所がそれぞれ持っている情報を交換・共有し、課題解決に向けた検討を行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 地域の各種会議やサロン等へ所長や5職種の職員が出向き、顔の見える関係作りを進めながら地域へ情報提供やニーズの把握に努めました。
2. 各関係団体や民生委員等から単位町内会・団地・マンション単位での地域活動の情報を収集し、インフォーマルサービス情報として冊子に集約しました。ケアプラザ担当地区のケアマネジャーや民生委員へ各会議を通じて冊子を配布しました。
3. 個別の相談から見える相談傾向や対応方法について地域包括支援センター部門と連携しニーズ把握に努めました。エリア内の高齢者世帯数や要介護者認定数3年分をグラフにまとめ運営協議会にて報告しました。

(3) 連携・協議の場

1. 「東戸塚駅周辺地域における認知症高齢者などの見守り・支えあいについて」をテーマとし話し合いを続け、12/1（土）に東戸塚駅前にて「認知症やさしいまなざしあったかハート in 東戸塚」と題して認知症サポーター養成講座・認知症徘徊模探索擬訓練・認知症についての普及啓発活動を実施しました。それをふまえて3/29（金）に協議体を開催しました。
2. 「認知症やさしいまなざしあったかハート in 東戸塚」を通じ、見守りネット協力店や東戸塚商店会等との繋がりが新たに構築できました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

昨年立ち上がった川上第一団地「憩いの部屋」の運営支援を区社協より引き継ぎました。歌の活動が撤退後、職員による歌の会やボランティアコーディネート等を行い継続活動の支援をしました。また、移動支援や買物支援のノウハウを地域へ広げるべく、関係機関等と情報共有や課題について検討を行っています。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

1. 所轄内の各種会議へ所長や5職種が参加し、地域への情報提供や地域ニーズの把握を行うとともに、関係者とのネットワーク構築を行いました。入手した情報や地域ニーズは地区支援記録を作成し情報共有を行うとともに、職員会議などで他部門も含めて対応方法などの検討を行いました。
2. 5職種会議に区社協担当者が出席し、情報の共有や地域課題に向けた検討を行いました。

3. 区役所地区担当者（ケースワーカー・保健師）と包括3職種・生活支援コーディネーター・地域交流コーディネーターで毎月カンファレンスを行い、地域情報の共有や多職種連携によるケース検討などを行いました。

②実態把握

1. 民児協定例会や地域のサロン、地区社協事業に所長や5職種が分担して出席し、個別相談や地域課題などの把握に努めました。
2. 5職種会議、3職種会議にて地域情報とともに、相談者の傾向をさぐり、ニーズにそった講座開催に向けた検討を行いました。

③総合相談支援

1. 専門職による相談窓口当番制を実施するほか、相談台帳の整備により、窓口当番に引き継ぎ、切れ目のない継続した相談対応を行うことができました。
2. 高齢者の相談が圧倒的に多いが、子どもや障害者を含む多問題世帯の相談についても地域活動交流コーディネーターや生活支援コーディネーター、区役所障害者支援担当、生活支援センター、民生委員など地域活動者とも連携し、包括的に支援を行いました。また、みまもりネット協力事業に登録し、ゆるやかな見守りをして下さっている企業と連携をとりながら、対象者の支援することができました。

（2）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 東戸塚駅、戸塚駅周辺を生活圏にする地域住民に対しボランティアを主体としながら近隣包括が連携して事業を実施しました。また、神奈川成年後見サポートセンター横浜西支部の行政書士の協力を得ることができました。また、行政書士の先生と顔の見える関係性ができたため、日頃の権利擁護の相談対応が連携しやすくなり、より専門的な助言や迅速に対応することができました。
2. 地域のサロンや、民児協定例会にて消費者被害の実態や警告をCP職員より周知しました。

②高齢者虐待への対応

1. 寄せられた相談については速やかに区役所地区担当に報告し、ケアマネジャーやサービス事業所、必要に応じて民生委員等の協力も得て、虐待防止指针对応マニュアルを活用しチームで対応しています。
2. 介護者のつどいを年6回開催しました。懇談会に加え、中国茶講座、アロマ、ストレッチ、マンドリン音楽会など、リラックスしたお気持ちになれる企画を中心に、参加者の希望を取り入れた企画を行いました。

③ 認知症

1. 秋葉中学校の福祉教育の授業とトヨタ自動車の研修で認知症サポーター養成講座を開催しました。12月には、東戸塚駅前にて「見守り、声かけ体験」として認知症サポーター養成講座と、パナソニックの協力を得ながら、実際に町に出てアプリを使った徘徊模擬訓練を行いました。駅前企業や民生委員、地域住民に講座開催段階から協力をいただき、認知症の現状やゆるやかな見守りの普及啓発を行うことができました。
2. 3月にお茶の間楽交で開催し、認知症の初期症状や日頃の対応方法を普及啓発しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 民児協定例会・食事会などの地域活動に参加し、地域との情報交換や課題の共有のための情報発信を行いました。個別のケースについても地域とケアマネジャーとの連携（地域のサロン等につながるなど）、医療機関・地域密着型サービスとの連携等、ゆるやかな見守りにつながる進展がありました。

2. ケアプラザレベル地域ケア会議を2回、個別ケース地域ケア会議を2回開催しました。

個別ケース地域ケア会議では、地域のキーパーソンとなる民生委員、ボランティアグループや福祉・医療職が出席し個別の課題解決を図るとともに今後起こるかもしれない事柄についての対策や地域課題を共有しました。

ケアプラザレベルの地域ケア会議では、1回目は平成28年から「東戸塚駅周辺の認知症高齢者等の見守り・支えあいについて」をテーマに行われてきた協議体/地域ケア会議においてのアンケートや意見をもとに今具体的にできることを話し合いました。2回目として地域説明会（2回実施）実行委員会（1回）のほか、認知症キャラバンメイト連絡会や地域の団体・企業・施設やサービス事業所等との話し合いを経て12月1日に「認知症やさしいまなざしあったかハート in 東戸塚」を実施しました。イベント開催に向けての調整のなか、連合自治会町内会・マンション管理会社の周知協力はじめ、場所や物品貸し出し、人的協力等、かかわりのなかった団体や企業ともつながることができました。今後も振り返りや協議を重ねていく予定です。

② 医療・介護の連携推進支援

1. 区内11包括の主任ケアマネジャーと連携しケアマネジャー連絡会（ケアマネット戸塚）・ほーめっと等の幹事会・定例会に出席し後方支援を行いました。又、区内11包括合同で在宅医療相談室と共催し医療連携研修を実施しました。年内に在宅医療相談室の協力を得て医療機関情報集を作成しケアマネジャー向けに配付予定です。

2. エリアで活動するケアマネジャーを対象に、5月には東戸塚エリアの入院機能をもつ医療機関との連携をテーマに各医療機関の退院支援看護師やMSWを招き実際の連携に役立つ顔の見える関係づくりを行いました。

地域の医療機関や薬局等の地域貢献（地域での活動や薬局での栄養相談等）をエリアで活動するケアマネジャーへ周知しよりよい連携のための支援を行いました。

③ケアマネジャー支援

1. 区内11包括と連携しケアマネット戸塚の定例会等の開催支援（年6回）、事業所訪問等による周知協力等を行いました。
2. 区内11包括主任ケアマネジャーと合同で新任就労予定ケアマネジャー研修を7月に実施しました。居宅介護支援事業所に所属する主任ケアマネジャーの協力を得て、より実践的な学びとケアマネジャー同士の横のつながりの場となりました。個別実習としては、新任ケアマネジャーの希望を取り入れ、地域ケア会議を見学し地域の現状や地域のインフォーマルサービスの実際を学ぶ内容を2回実施しました。
3. ケアマネサロンを3回開催しました。（5月/エリア内の入院機能をもつ医療機関の連携 1月/事例検討会 3月/ケアマネジャーと民生委員の交流）
4. 居宅介護支援事業所へ毎月訪問し、個別ケースの相談支援や情報提供、ニーズ把握を行いました。地域密着型サービスの運営推進会議の出席や小規模多機能事業所のケアマネジャーや新規にできた有料老人ホーム等にも積極的に出向きより広い地域包括支援センターの周知や地域の社会資源としての関係づくりをめざしました。
エリア内のサロンやちょボラ（ちょっとしたボランティア活動）等の情報を集めたインフォーマルサービス情報集を作成しケアマネジャーに配付しました。
東戸塚エリアには新規にできたクリニック・高齢者向け住宅も多くあり、広報紙の配布・掲示依頼等によるケアプラザ機能の周知に努めました。
5. 困難ケースの等の個別の相談には同行訪問、サービス担当者会議の出席、カンファレンス開催など5職種と連携し個別ケースの内容に応じた連携や支援を行いました。

（4）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. 戸塚区ケアマネジャー連絡会（ケアマネット戸塚）、戸塚区在宅療養連絡会（ほーめっと）、戸塚区在宅医療相談室の事例検討会へ参加・連携し多職種連携に努めました。
2. 地域ケア会議、協議体をつうじて、地域住民・関係団体・施設・医療機関等が互いを知り、活用できる関係づくりに取り組みました。地域ケア会議では地域住民・民生委員等の活動者をはじめ医療職・福祉職、又東戸塚エリアの強みである企業・金融機関・商業施設・教育機関等幅広い多職種の参加にて協議を行いました。

（5）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 地域でおこなわれているサロンや昼食会、老人会に5職種が当番制に関わり、積極的に住民主体の活動を支援するとともに、情報収集及び発信を行いました。
2. 地域で得たインフォーマル情報集を作成し、エリア内のケアマネジャーに配布しました。
3. ケアマネジャーと民生委員が顔の見える関係性が取れるよう、またケアマネジャーの役割を一層民生委員に理解してもらえよう、交流会を開催します。（3/中旬予定）
4. 毎月事業所訪問を行い、相談しやすい環境づくりを目指し、一緒に個別ケースにも対応を行うとともに、必要に応じたアドバイスを行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
<ol style="list-style-type: none">1. ケアプラザの自主事業や地域のサロンや食事会等での健康講座を通じて、場所や道具が無くてもすぐ実践できる介護予防の知識や技術の提供を行いました。2. 地域のサロンや老人会、地区センター等で行っている活動等の情報収集し必要な情報を提供し、健康と生きがいと共に継続できる生活を支援しました。3. 元気づくりステーションや既存の活動団体について、区役所と連携して継続的なグループ活動の支援を行いました。4. 介護予防普及強化業務として、GoGo 健康講座を、地域会場を利用して開催します。ロコモティブシンドロームの予防や栄養、口腔ケアに関する内容を取り入れ、健康で自立した生活を長く続けられるよう、普及啓発に取り組んでいます。

5 その他

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

指定管理者として公の施設を公平・公正に管理しました。地域ケアプラザを安全で安心して使用できる地域住民の拠点となるよう心がけ、設備等の故障等により利用者に不便をかけることのないよう、こまめに維持管理を行いました。また老朽化や急な故障等への対応は、区役所と十分な連携をとり、適切な対応を行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

地域ケアプラザの機能を活かし、5部門（地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援体制整備、居宅介護支援、通所介護）の各事業が連携を密にとることで地域課題の共有化を行いました。これまで築いてきた市民や地域関係機関・団体と関連事業を通し役割分担をしながら共助の仕組みづくりを進めました。また、限られた予算内で適正な運営を行うため、経費の削減、資源の有効利用に努めました。また、複数の指定管理施設を受託している法人の利点を生かし、保守業務や事務経費の一括入札などでより経費を抑えるよう努めました。

(3) 苦情受付体制について

要望や苦情は業務改善の機会と捉え、ご利用者から頂くご意見や要望に沿って各部門の改善に取り組みます。また、積極的に意見を頂けるように、定期的に利用者アンケート（年1回以上）を実施するとともに、ご意見箱による意見収集・改善に努めました。

苦情については、横浜市社会福祉協議会「苦情相談対応マニュアル」に沿って苦情受付の体制を整えています。受付担当者→実務責任者（所長）→所管部長→苦情解決推進チーム→総括責任者という流れで苦情の解決にあたります。また、本会では苦情解決調整委員（第三者委員）として、法律・福祉・人権の各分野の専門家に依頼して、上記の仕組みで解決できなかった場合の対応や助言をもらいながら円滑な解決とサービスの改善に努めました。また、苦情受付担当者と苦情実務責任者を情報掲示板や貸館の室内に掲示し、利用者に対して苦情受付の体制を周知しました。合わせて、横浜市ご意見ダイアルの周知も行いました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

法人で作成した事故・災害マニュアル等に基づき、迅速な対応を行いました。

今後は地域防災拠点と連携した訓練の実施に向け地域と検討を重ねます。その他、応急備蓄物品の整備に加え、地震等の災害時に速やかに駆けつけられることを目指した配属後の参集訓練実施、災害時の要援護者の安否確認用の緊急連絡先一覧の整備等、有事に備えました。

例年同様、併設する3施設（地区センター・療育センター・本ケアプラザ）合同防災訓練を2回（9月、3月）実施しました。

(5) 事故防止への取組について

事故や急病に対して、毎月の施設内の会議において他の法人運営施設の事件事例やヒヤリハット事例の情報を共有してリスクの分析・評価と事故防止策や急病等突然の対応が必要な際の対応について、随時、職員全員で共有しました。

引き続き、ヒヤリハット報告を挙げる仕組みを徹底し、潜在リスクの情報を共有しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

「横浜市個人情報保護に関する条例」並びに「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づき、個人情報保護に努めました。

職員には、法人及び施設において個人情報保護に関する研修を実施し意識啓発を図るとともに、個人情報の適正な取扱いを意識・徹底しました。

(7) 情報公開への取組について

法人の「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する情報の公開に関する規程」に基づき情報の公開を行いました。

法人の情報は、運営協議会や本会ホームページ等において積極的に予算・決算、事業内容等を公表しました。また、ケアプラザ広報紙「はれやか通信 さんぽみち」を活用し、施設の活動内容を地域及び関係機関等に情報発信しました。

(8) 人権啓発への取組について

人権及びプライバシーへの配慮について、年度当初に全職員を対象に研修を実施しました。今年度は障害施設の職員を招き、利用者本位の視点を参加者で共有・確認し、利用者や相談者個人の尊厳を保持するとともに、利用者が個々の能力に応じて自立した生活ができるよう支援する我々の意識・認識を高めました。

日頃の業務の中でも、職員どうしが対人に対する言動、態度等を指摘し合いながら従事するよう徹底しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

人権及びプライバシーへの配慮について、年度当初に全職員を対象に研修を実施します。今年度は障害施設の職員を招き、利用者本位の視点を参加者で共有・確認し、利用者や相談者個人の尊厳を保持するとともに、利用者が個々の能力に応じて自立した生活ができるよう支援する我々の意識・認識を高めました。

日頃の業務の中でも、職員どうしが対人に対する言動、態度等を指摘し合いながら従事するよう徹底しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- 主任ケアマネジャー 1名（常勤兼務）
- 保健師等 1名（常勤兼務/介護予防支援事業管理者）
- 社会福祉士 2名（常勤兼務）
- 社会福祉士 2名（非常勤）

《目標に対する成果等》

法令を遵守し、ご本人とご家族が住みなれた地域で安心して自立した生活ができるように支援を行いました。当ケアプラザ内をはじめ、地域で実施されるインフォーマルサービスを取り入れ、常に利用者本位を根底においた介護予防プラン作成を行い、心身の状態が維持を図りました。

また、必要に応じて適宜、介護保険制度等の最新情報をご本人やご家族に提供していきました。

地域支援事業への円滑な移行へ向け、情報の収集と定期的な更新を行い、利用者の自立支援に資するよう、心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割を持てるようバランス良くアプローチを行うとともに、利用者への説明・意識づけ、事業者との調整に取り組みました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防の部門会議を定期的で開催し、情報共有、ケース検討、内部研修によるケアマネジメント力の向上に取り組みました。また、担当ケアマネジャーが不在時でもご利用者への対応が迅速かつ円滑に行えるよう、部門内の情報共有を徹底しました。処遇困難ケース等は随時担当者等で話し合いを持ちながら組織的に対応しました。

研修に参加しやすい協力体制を維持し、外部研修にも積極的に参加し、個人のスキルアップを図りました。

委託先のケアマネジャーとの顔の見える関係作りを心がけ、相談しやすい雰囲気作りを行い、ケアマネジャーの適切な介護予防プランの作成に繋がるよう支援していきました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
260	256	257	272	269	273
10月	11月	12月	1月	2月	3月
280	281	285	284	291	301

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

常勤 1 名 非常勤 4 名

《目標に対する成果等》

地域に根ざした居宅介護支援をめざし、ご利用者、ご家族と共に考え対話を大切に、地域で安心して在宅生活が送れるようケアプラン作成を行いました。また、法令を遵守し誠実な業務を行い、安定した経営を目指し業務にあたりました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ケアプラザの居宅介護支援という利点を活かし、地域包括支援センター、通所介護、地域活動交流部門、生活支援体制整備部門と積極的に連携をはかりました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
143	154	148	143	163	164
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
165	169	163	163	173	169

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導(相談援助等) ●機能訓練(日常動作訓練) ●介護サービス
●健康状態の確認 ●送迎 ●給食 ●入浴 ●個別機能訓練

《実費負担(徴収する項目ごとに記載)》

● 1割負担分	
(要介護1)	614円
(要介護2)	725円
(要介護3)	837円
(要介護4)	948円
(要介護5)	1060円
●入浴加算	54円
●体制強化加算Iイ	20円
●個別機能訓練加算II	60円
●食費負担	764円
● 2割負担分	
(要介護1)	1227円
(要介護2)	1450円
(要介護3)	1673円
(要介護4)	1896円
(要介護5)	2119円
●食費負担	764円
●入浴加算	108円
●体制強化加算Iイ	39円
●個別機能訓練加算II	120円
● 3割負担分	
(要介護1)	1795円
(要介護2)	2123円
(要介護3)	2448円
(要介護4)	2776円
(要介護5)	3101円
●食費負担	764円
●入浴加算	161円
●体制強化加算Iイ	58円
●個別機能訓練加算II	180円

- 介護職員処遇改善加算I 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算
※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:15~15:20

《職員体制》

生活相談員8名/介護員16名/看護師5名(機能訓練指導員を兼ねる)/運転員4名

《目標に対する成果等》

利用されるおひとりおひとりの生き方を大切に、ご意向や状況をしっかり汲み取れるよう、課題分析をしっかり行い、通所介護計画書に反映させていきました。

ご家族が介護疲れや介助方法などについて、安心して気軽に相談ができるような関係作りを目指しました。

地域の中で信頼され、親しみをもって頂けるデイサービスを目指し、ケアプラザまつりやボランティアのつどいなどの事業に積極的に参加しました。また地域の中学校の職業講和にも参加してきました。

職員ひとりひとりが、専門職としての知識や技術を向上できるように、法人全体の研修システムを利用し研修を実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

レクリエーションの中にも、生活リハビリ・遊بریテーションを導入し、グループや集団で楽しみながらできる機能向上訓練を実施しました。また、希望者には個別機能訓練を計画的に実施しました。また、毎回フットケアを実施し、下肢の観察及び血行促進を図りました。

音楽療法、アロマセラピー療法、書道教室、手芸教室等を実施し魅力あるプログラムを提供しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
626	651	614	667	671	648
10月	11月	12月	1月	2月	3月
675	641	618	594	581	652

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導(相談援助等) ●運動器機能向上訓練 ●健康状態の確認 ●送迎
- 給食 ●入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

(要支援1) 1766円

(要支援2) 3621円

●体制強化加算Iイ(要支援1)78円 / (要支援2)155円

●介護職員処遇改善加算I 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算

●運動器機能向上加算 242円

●食費 764円

● 2割負担

(要支援1) 3531円

(1)(要支援2)週1回利用 3531円

(2)(要支援2)週2回利用 7241円

●体制強化加算Iイ(要支援1)155円 / (1)(要支援2)155円

(2)(要支援2)309円

●介護職員処遇改善加算I 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算

●運動器機能向上加算 483円

●食費 764円

● 3割負担

(1)(要支援2)週1回利用 5297円

(2)(要支援2)週2回利用 10861円

●体制強化加算Iイ(要支援1)232円 / (1)(要支援2)232円

(2)(要支援2)463円

●介護職員処遇改善加算I 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算

●運動器機能向上加算 724円

●食費 764円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:15~15:20

《職員体制》

生活相談員8名／介護員16名／看護師5名（機能訓練指導員を兼ねる）／運転員4名

《目標に対する成果等》

利用されるおひとりおひとりの生き方を大切に、ご意向や状況をしっかり汲み取れるよう、課題分析をしっかり行い、通所介護計画書に反映させていきました。

ご家族が介護疲れや介助方法などについて、安心して気軽に相談ができるような関係作りを目指しました。

地域の中で信頼され、親しみをもって頂けるデイサービスを目指し、ケアプラザまつりやボランティアのつどいなどの事業に積極的に参加しました。また地域の自治会館等へ出向き老人会等に参加しました。

職員ひとりひとりが、専門職としての知識や技術を向上できるよう、法人全体の研修システムを利用し研修を実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

レクリエーションの中にも、生活リハビリ・遊بریテーションを導入し、グループや集団で楽しみながらできる機能向上訓練を実施しました。また、希望者には運動器機能向上訓練を計画的に実施しました。また、毎回フットケアを実施し、下肢の観察及び血行促進を図りました。

音楽療法やアロマハンドマッサージ等を実施し魅力あるプログラムを提供しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
33	34	34	32	31	30
10月	11月	12月	1月	2月	3月
34	35	37	33	36	38

平成30年度「横浜市東戸塚地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,499,380		16,499,380	16,499,380	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	1,977,500		1,977,500	1,977,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	47,000		47,000	47,000	0	
収入合計	18,523,880	0	18,523,880	18,523,880	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,586,000	0	11,586,000	10,005,643	1,580,357	
本俸	8,396,000		8,396,000	7,305,931	1,090,069	
社会保険料	705,000		705,000	666,629	38,371	
手当計	2,288,000		2,288,000	1,940,270	347,730	
健康診断費	1,000		1,000	14,175	△ 13,175	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	189,000		189,000	71,888	117,112	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,975,000	0	1,975,000	2,544,232	△ 569,232	
旅費	4,000		4,000	22,085	△ 18,085	職員交通費
消耗品費	500,000		500,000	283,437	216,563	交流棟/館内消耗品、トレットペーパー、コピー用紙、封筒等
会議随費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	160,000		160,000	129,915	30,085	広報紙印刷代、領収書
通信費	120,000		120,000	274,079	△ 154,079	プレッ光、電話料金、郵券等
使用料及び賃借料	0	0	0	3,860	△ 3,860	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	3,860	△ 3,860	地区センター料理室、ケアプラザまつり駐車場代
備品購入費	100,000		100,000	20,747	79,253	ミニスポットクーラー、窓エアコン
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	16,969	△ 16,969	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	0		0	500	△ 500	
リース料	60,000		60,000	112,920	△ 52,920	AED、コピー機
手数料	5,000		5,000	1,724	3,276	残高証明書、軽量器検査料
地域協力費	0		0	0	0	
その他	1,011,000		1,011,000	1,677,996	△ 666,996	諸会費、インフルエンザ補助金、渉外費等
事業費	596,000	0	596,000	336,975	227,522	
運営協議会経費	42,000		42,000	10,497	31,503	予算：指定額
指定管理料充当 事業	554,000		554,000	326,478	227,522	
管理費	3,440,000	0	3,440,000	4,610,647	△ 1,170,647	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	1,178,000		1,178,000	1,343,201	△ 165,201	
電気料金				738,512		
ガス料金				247,178		
水道料金				357,511		
清掃費	800,000		800,000	796,369	3,631	
修繕費	474,000		474,000	1,237,910	△ 763,910	予算：指定額
機械整備費	5,000		5,000	5,205	△ 205	
設備保全費	330,000	0	330,000	245,761	84,239	
空調衛生設備保守	150,000		150,000	65,057	84,943	
消防設備保守	180,000		180,000	180,704	△ 704	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	653,000		653,000	982,201	△ 329,201	
公租公課	926,880	0	926,880	800,451	126,429	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	926,880		926,880	800,451	126,429	
印紙税					0	この列は入力しない
その他()					0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
ニーズ対応費					0	この列は入力しない
支出合計	18,523,880	0	18,523,880	18,297,948	194,429	
差引	0	0	3,440,000	225,932	△ 194,429	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市東戸塚地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,833,000		28,833,000	28,256,610	576,390	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,517,000		1,517,000	1,517,000	0	
収入合計	36,290,000	0	36,290,000	35,713,610	576,390	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	32,092,957	596,043	
本俸	16,100,000		16,100,000	16,943,133	△ 843,133	
社会保険料	4,172,000		4,172,000	4,360,850	△ 188,850	
手当計	10,740,000		10,740,000	9,578,415	1,161,585	
健康診断費	96,000		96,000	67,725	28,275	
勤労者福祉共済掛金	33,000		33,000	32,250	750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,548,000		1,548,000	1,110,584	437,416	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,495,000	0	1,495,000	854,604	640,396	
旅費	150,000		150,000	46,720	103,280	交通費等
消耗品費	200,000		200,000	89,954	110,046	館内/包括消耗品、封筒、トイレットペーパー、コピー
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	150,000		150,000	272,601	△ 122,601	プレツ光、所長用携帯、後納郵便、電話料金
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	20,747	79,253	ミニスポットクーラー、窓エアコン
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	0		0	4,511	△ 4,511	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	30,000		30,000	81,158	△ 51,158	AED,コピー機
手数料	3,000		3,000	0	3,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	847,000		847,000	338,913	508,087	諸会費、インフルエンザ、広告費等
事業費	774,000	0	774,000	779,451	△ 5,451	
協力医	63,000		63,000	504,000	△ 441,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	251,000		251,000	45,005	205,995	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	79,446	229,554	予算:指定額
管理費	916,000	0	916,000	1,086,844	△ 170,844	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	300,000	0	300,000	357,053	△ 57,053	
電気料金			0	196,313	△ 196,313	
ガス料金			0	65,706	△ 65,706	
水道料金			0	95,034	△ 95,034	
清掃費	212,000		212,000	211,692	308	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	2,000		2,000	1,383	617	
設備保全費	86,000	0	86,000	65,326	20,674	
空調衛生設備保守	39,000		39,000	17,293	21,707	
消防設備保守	0		0	48,033	△ 48,033	
電気設備保守	47,000		47,000	0	47,000	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	190,000		190,000	451,390	△ 261,390	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当施設設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	35,874,000	0	35,874,000	34,813,856	1,060,144	
差引	416,000	0	416,000	899,754	△ 483,754	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市東戸塚地域ケアプラザ

平成30年4月1日~平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入			0	26769000	22616366	4152634	81369000	81183718	185282	14978000	16492506	-1514506	
	その他	151000	151000	0				100000	311700	211700	0	14	-14	
	介護予防ケアマネジメント費			0			0			0			0	
	事業・負担金収入			0			0			0			0	
	寄付金収入			0			0	0	5000	-5000			0	
	参加費収入			0			0	0	40448	-40448			0	
	受取利息配当金収入			0			0	0	4	-4			0	
	その他(雑収入)			0	0	51	-51			0		0	14	-14
	収入合計(A)	151000	151000	0	26769000	22616417	4152583	81469000	81540870	-71870	14978000	16492520	-1514520	
	支出	人件費			0	19246000	20197493	-951493	56818000	56147760	670240	6072000	5586110	485890
事務費				0	131000	89281	41719	633000	482115	150885	21000	14066	6934	
事業費		151000	151000	0	883000	1050645	-167645	22568000	24879958	-2311958	8222000	6738683	1483317	
管理費				0			0			0			0	
その他		0	0	0	0	0	0	0	87175	-87175	0	0	0	
利用者負担軽減額				0			0	0	87175	-87175			0	
消費税				0			0			0			0	
介護予防プラン委託料				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
その他				0			0			0			0	
支出合計(B)	151000	151000	0	20260000	21337419	-1077419	80019000	81597008	-1578008	14315000	12338859	1976141		
収支 (A)-(B)	0	0	0	6509000	1278998	5230002	1450000	-56138	1506138	663000	4153661	-3490661		

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市東戸塚地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
お茶のみ会	65歳以上	415,102	地活	220,202	194,900	0	10,000	405,102	0
	935		包括	-	-	-	-	-	-
	200円・500円		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
男の井戸端会議	男性	0	地活	-	-	-	-	-	-
	531		包括	-	-	-	-	-	-
	-		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
東戸塚VERYの会	35歳以上の高齢初産者・高齢出産	17,813	地活	13,213	4600	0	0	17,813	0
	298		包括	-	-	-	-	-	-
	-		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
アミーコ	未就学児親子	19,400	地活	15,400	4,000	0	3,000	15,000	1,400
	127		包括	-	-	-	-	-	-
	200円・---		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
夜間飛行	18歳以上の知的障がい	22,902	地活	702	22,200	0	0	22,902	0
	290		包括	-	-	-	-	-	-
	100円		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
ぶちだがしや楽交	地域住民	61,600	地活	61,600	0	0	0	25,000	36,600
	528		包括	-	-	-	-	-	-
	-		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
地域ケアプラザまつり	地域住民	68,418	地活	54,868	13,550	0	0	56,718	11,700
	524		包括	-	-	-	-	-	-
	-		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
貸館団体交流会	貸館登録団体	13,845	地活	13,845	0	0	0	13,845	0
	50		包括	-	-	-	-	-	-
	-		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
ボランティアのつどい	ボランティア	14,820	地活	14,820	0	0	5,000	9,820	0
	24		包括	-	-	-	-	-	-
	-		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
ボランティア連絡会	東戸塚周辺でボランティア活動をしている方	0	地活	-	-	-	-	-	-
	45		包括	-	-	-	-	-	-
	-		介護	-	-	-	-	-	-
	-		生活	-	-	-	-	-	-
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市東戸塚地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	介護している方	20,492	地活					
			包括	20492				20,492
			介護					
			生活					
ふくしものしり大学	地域	6,425	地活					
			包括	6425				6,425
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市東戸塚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
りとるありんこクラブ	子育て支援、仲間づくり、情報交換の場の提供 1～3歳までのこどもと養育者の育児サークル	月2回 第2・4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しゅっぽっぽ	子育て支援、仲間づくり、情報交換の場の提供 0～2歳までの子どもと養育者の育児サロン	月1回 第4月曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウナシー子育て隊	子育て支援、仲間づくり、情報交換の場の提供 川上保育園の保育士による遊びの場	9月・11月・1月 各第3月曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お茶のみ会	介護予防・外出機会の創出・仲間づくり 茶話会・食事会・季節行事による高齢者の交流会	月2回 第2・4金曜日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の井戸端会議	介護予防、地域参加へのきっかけづくり、仲間づくり 60歳以上の男性を対象とした交流会	月1回 第2火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康麻雀くらぶ ゆうゆう会	介護予防・地域参加へのきっかけづくり、仲間づくり 健康麻雀教室	月3回 第1日曜日 第3金曜日 第4木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたごえ喫茶かがやき	介護予防、外出機会の創出、仲間づくり 地域ボランティアによる歌声喫茶	不定期 年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食サービスりんどう	高齢者の安否確認、食事の提供 一人暮らし高齢者・高齢者夫婦世帯対象の配食サービス	毎週水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おじさんボランティア助っ人隊	ボランティアグループ支援、高齢・障害世帯支援 ボランティア需給調整、地域ボランティア定例会への参加、アドバイス	月1回 第3土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夜間飛行	障がい者の余暇活動支援 18歳以上の主に知的障害者を対象とした青年学級、食事や季節の行事を通じてボランティアや仲間同士の交流を図る	月2回 原則第1・3火曜日

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て教室 アミーコ	子育て支援、仲間づくり、情報交換の場の提供、地域ボランティア等の社会資源の活用 地域ボランティア等による子育て講座	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
会場利用団体交流会	福祉保健活動の推進 ケアプラザに団体登録をして会場利用している団体の交流会	1回 12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東戸塚地域ケアプラザまつり	地域への周知・普及啓発、ネットワーク形成 模擬店出店	1回 10月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティアのつどい	ボランティアの交流、スキルアップ 全ボランティアを対象としたスキルアップ講座、交流会	1回 2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東戸塚地域ボランティア連絡会	ボランティアに関する情報交換 連携強化 課題検討及び解決	奇数月 第2水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぷち*だがしや楽交	地域交流の場 世代間交流	年1回 6月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
東戸塚VERYの会	子育てに関する情報交換 母親のための会 ダブルケア、トリプルケアへの取組	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで過ごす夏休み inとつか2018	障害児者余暇支援活動 親のレスパイト	8月 1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市東戸塚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者支援 介護者の精神的負担の軽減と、介護者自身のエンパワメントを目的としたつどい	年6回 奇数月第二木曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふくしものしり大	権利擁護等に関する普及啓発 東戸塚付近の6地域ケアプラザ（東戸塚、名瀬、平戸、上矢部、南戸塚、舞岡柏尾）共催 ボランティア団体による寸劇と行政書士による講演会	年2回 戸塚地区 東戸塚地区

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数